

まち歩きをもとに土砂災害ハザードマップ作成の検討会を行います ～土砂災害に対する取り組みの実践～

新庄河川事務所では、土砂災害の発生を未然に防止し、地域住民の生命、財産を守ると共に、地域活動の維持・発展に貢献するため、総合的な砂防事業に取り組んでいます。

今般、新庄河川事務所と自治体が連携し、昨今の被災状況等を鑑みソフト対策の推進に向けて、土砂災害の前兆現象を速やかに通報頂くと共に、各種警戒情報等を踏まえ、地域の住民みずからが自主的に対応等を速やかに出来るよう、土砂災害に関し、より身近な地区単位でのハザードマップの作成に向けて試行的に取り組んでいます。

今回は、今年度内での作成に向けて、これまでの情報を盛り込んだ土砂災害ハザードマップ(素案)及び避難誘導標識設置箇所の確認を行う検討会を開催します。

■西川町

1. 実施日時 平成27年2月18日(水) 19:00-20:00
2. 実施場所 西川町田代公会堂(西川町大字沼山字田代172)

■真室川町

1. 実施日時 平成27年2月19日(木) 18:30-20:00
2. 実施場所 真室川町大滝公民館(真室川町大字大滝 地内)

<発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会>

<問い合わせ先>

■国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

副所長(砂防) さとう 佐藤 かつみ 勝美 (TEL 0233-22-0251)

<西川町関係> 寒河江川砂防出張所長 おおいけ 大池 けんいち 賢一 (TEL 0237-74-2366)

<真室川町関係> 建設監督官 こおりやま 郡山 ひでき 秀樹 (TEL 0233-22-0256)

■西川町役場

総務課 危機管理係長 おおいづみ 大泉 たけし 健 (TEL 0237-74-4404)

■真室川町役場

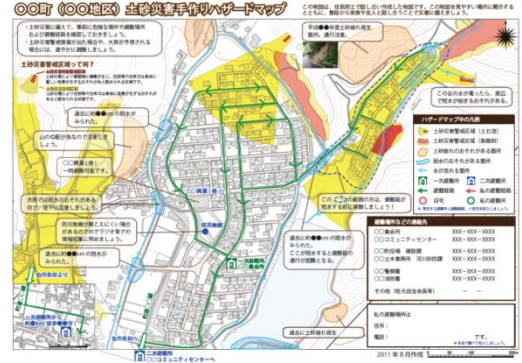
総務課(総務・危機管理担当) 主査 みうら 三浦 ひでゆき 英之 (TEL 0233-62-2111)

「まるごと里ごと土砂防災及びハザードマップ(仮称)」の取り組み

【実施項目】

- ・地区への趣旨説明
- ・各種関連資料の整理、確認(土砂災害、洪水ハザードマップ等)
- ・まち歩き(現地確認)
- ・DIG※1(図上検討)
- ・避難経路図・ハザードマップ等作成、標識等設置
- ・訓練・活用・評価

※1 DIG(ディグ Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム))とは、一般市民が独力で企画・運営できる簡易型の防災図上訓練ノウハウです。



土砂災害ハザードマップの例

【全体スケジュール】

No	実施項目	実施時期	
		西川町沼山地区	真室川町大滝地区
1	地区趣旨説明会	H26.11.19(水)	H26.10.30(木)
2	まち歩き	H26.11.28(金)	H26.11.20(木)
3	DIG	H27. 1.15(木)	H26.11.20(木)
4	検討会 避難経路図・ハザードマップ、 標識設置箇所の確認	H27. 2.18(水)	H27. 2.19(木)
5	避難経路図・ハザードマップ作成	H27.3下旬頃まで	H27.3下旬頃まで
6	避難経路図・ハザードマップの配付	H27.5下旬頃まで	H27.5下旬頃まで
7	標識等設置	H27.6頃まで	H27.5下旬頃まで
8	訓練・活用・評価	H27.6以降	H27.6以降



避難誘導標識(戸沢村役場前)の例

【主なこれまでの実施内容】

- ①まち歩きく地元住民と地区内を歩く>
- ・避難場所になる箇所や土砂災害警戒区域指定箇所などを確認
 - ・過去の土砂災害での被害状況を聞き取り
 - ・危険箇所を見つけたなら地図に印を付けて写真撮影
 - ・避難誘導箇所の標識設置最適箇所の選定



久保間地区～沼山集会センターを約2時間半かけて歩いた(西川町)



2班に分かれて大滝駅周辺～旧大滝小学校を約1時間半かけて歩いた(真室川町)

- ②DIG<集会所に戻って検討>

- ・地図を広げる
- ・歩いてチェックした場所にシールを貼り付け
- ・「避難時注意」などと書いたメモを貼り付け



田代公会堂にて(西川町)



大滝公民館にて(真室川町)



※この取り組みについて、西川町では「まるごと里ごと土砂防災(仮称)」、真室川町では「まるごと里ごとハザードマップ(仮称)」と呼んでいます。